

2019年度 社会福祉法人 高崎福祉倶楽部 事業計画

1. 基本方針

基本理念である「生きる喜びを支えるケア」と「その人らしさを大切に一人ひとりの生活を支援」するため介護サービスの質の維持に努め、ご利用者の生活が感じられる住まいとなるよう環境を整えます。また、「地域の方々に信頼され、福祉・文化・交流の拠点となる」べく、地域に開かれた施設運営をめざします。さらに、新たな機器や ICT 等を導入し業務の負担軽減をはかり、互いに成長できる職場環境をつくります。

2. 事業計画

① 介護サービスの質の維持と人材育成

- ・ 情報の共有化と業務内容の分業化によるチームケアの醸成
- ・ 資格取得支援と内部研修の継続
- ・ 有給休暇の計画付与（年 10 日以上の場合 5 日）
- ・ 年齢や資格にとられない多様な人材の活用

② 地域貢献等

- ・ 在宅支援事業の機能強化（群馬県ふくし総合相談支援事業・通所事業所定員の増員）
- ・ 地域活動（介護予防体操）の継続
- ・ 情報発信の継続（HP・広告等の活用）

3. 予算（借入金償還を含む）・事業別計画 ※別紙参照

4. 会議計画

- | | | |
|-------------------------|-------|----------|
| ① サービス責任者定例会議 | 月 1 回 | 各事業所の責任者 |
| ② 安全衛生委員会・危機管理委員会（①と同日） | 月 1 回 | 各事業所の責任者 |
| ③ 給食会議 | 月 1 回 | 各事業所の責任者 |

5. 研修計画

- | | |
|------------------------|-------|
| ① 職員研修 | 月 1 回 |
| ② 看取り・喀痰吸引の研修 | 年 1 回 |
| ③ 感染予防、事故、身体拘束防止に関する研修 | 年 4 回 |
| ④ 外部研修への参加（※認知症の理解等） | |

6. 改修・購入計画

平成 30 年度からの繰越事業

- ① 特養・通所・事務所・厨房等の空調設備・通信機器入替工事
- ② 特養のリフト浴槽の備品購入と改修工事

7. 職員採用計画

- ① 介護福祉士養成校や社会福祉協議会、ハローワーク、派遣事業者との連携、シルバー人材、有償ボランティア等の活用
- ② 外国人技能実習生の受入準備

8. 介護報酬改定への対応

- ① 消費税導入による報酬単価（2×10.27 円）、食費（12 円）、居住費（32 円）の増額
- ② 特定処遇改善加算

2019年度 特別養護老人ホーム悠ゆう 事業計画

介護ニーズの多様化と重度化に対応した介護サービスの提供と高齢者の生活に配慮した住環境の整備に努める。

◇ 特養・短期入所

< 目 標 >

人材育成と情報の共有化による連携

< 実施計画 >

1. 役割分担と連携によるチームケアの構築
 - ①業務内容の見える化（ICTの導入等）と具体的な役割
 - ②職員一人ひとりの社会人としての基礎的スキルの向上
2. 委員会活動の活性化によるリスクマネジメントの強化
3. 経営理念、キャリアパスの浸透と定着
4. 認知症の理解をはかる

機能訓練

< 目 標 >

生活リハビリの充実

< 実施計画 >

1. 残存機能維持を目的としたレクリエーションの実施
2. ご利用者の生活歴を踏まえた住環境の整備と日常生活の充実を図る
3. 口腔機能向上のための口腔体操を実施（誤嚥・インフルエンザ予防）

給 食

< 目 標 >

食べる楽しみと経口摂取の維持

< 実施計画 >

1. 食欲を刺激する献立、食事形態の工夫による経口摂取の維持に努める
 - ①季節感や生活感のある食事の提供
2. 栄養ケア計画に基づき経口摂取機能の適切な評価
 - ①多職種による評価を基にした嚥下調整食の提供

健康管理

< 目 標 >

健康の維持と感染症の予防

< 実施計画 >

1. 健康管理と観察のポイント、疾病と服薬（皮膚の保湿）についての周知
2. 看取り、褥瘡予防、感染予防等の施設内研修の実施
3. 事故の予防と事故発生時の対応の周知
4. 職員の健康診断を実施（腰痛予防対策を含む）

デイサービスセンター青葉 事業計画

高齢になっても住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられることを目標に通所介護、介護予防・総合事業を提供します。

< 目 標 >

- ご利用者の状態の維持向上を図り、地域での暮らしが維持できるよう支援する。
- 地域の方が気軽に立ち寄れる場所を提供する。

< 実施計画 >

1. 事業所内の軽費老人ホームと短期入所事業、居宅事業者やあんしんセンターと連携し定員の増員と利用者の確保をはかる。
2. 地域における認知度アップを目指し積極的な情報発信をする。
3. 地域活動「歌って笑って健康体操」の継続のより地域住民との交流をはかる。
4. 手作り品の展示（販売）等による生きがいづくり。

ケアプランセンター悠ゆう 事業計画

住み慣れた地域で自立した在宅生活を継続できるよう、一人ひとりの心身の状況及び生活環境に応じ、利用者の選択に基づき適切な保健医療ならびに福祉サービスを総合的かつ効率的に提供できるよう努めます。

< 目 標 >

- ご利用者の立場に立ち分かりやすい説明を心がけます。
- 医療機関や他事業所との連携を強化し信頼を得ることで新規利用に繋がります。

< 実施計画 >

1. 近隣の病院、薬局、高齢者あんしんセンターや地域等の社会資源を積極的に活用した新規利用者の獲得。
2. 群馬県ふくし総合相談支援事業による相談窓口を開設し地域の方々の暮らしに寄与する。

ケアハウスグリーンガラス 事業計画

その人らしく自律した生活ができることを念頭に置き、自助、互助、共助及び公助の適切な組み合わせに留意し支援します。

< 目 標 >

- ご利用者相互の親睦をはかり、互いに助け合いながら楽しく生活できるよう支援します。
- 参加しやすい行事を企画し、意欲や体力の低下防止に努めます。

< 実施計画 >

1. ご利用者の心身状況の変化に迅速かつ的確に対応するためご家族や担当ケアマネとの連絡、情報共有を密に行う。
2. 健康チェック（血圧、脈拍、体温、体重の測定）の月1回以上の実施と年1回以上の健康診断を促す。
3. 買物への支援（近隣の量販店、ドラッグストア、出張販売等）
4. 介護予防の体操や頭の体操による健康寿命の増進をはかる。

平成31年度 年間レクリエーション 計画表

デイサービスセンター 青葉

レクリエーションポリシー

レクリエーションをリハビリテーションの一部と位置づけ、参加しやすい形態で提供し、参加することによりADLの維持を図る
 工作、調理などを通して機能の再獲得を図りながら人生の張りや生きがいを提供するとともに、デイサービス継続の動機付けとする

年間レクリエーション計画

項目 月	長期 レクリエーション	短期 レクリエーション	季節 レクリエーション	個別 レクリエーション	全体 レクリエーション	地域活動
4月		ゲーム 調理 工作 ゲーム	五月飾り こいのぼり飾り付け	毎 数字・絵合わせ 手作りパズル 大人のぬり絵 編み物 新聞を読む		第1・3水曜日 健康体操
5月		ゲーム 調理 ゲーム	端午の節句	毎 数字・絵合わせ 手作りパズル 大人のぬり絵 編み物 新聞を読む		第2・4水曜日 健康体操
6月		ゲーム 調理 ゲーム 工作	七夕飾り	毎 数字・絵合わせ 手作りパズル 大人のぬり絵 編み物 新聞を読む	季節ごとに 張り絵やちぎ り絵、オブジェ の制作	第1・3水曜日 健康体操
7月	朝の挨拶時 ■手指運動 ■ラジオ体操 等必ず体操を行う	ゲーム 調理 ゲーム 工作		毎 数字・絵合わせ 手作りパズル 大人のぬり絵 編み物 新聞を読む		第1・3水曜日 健康体操
8月	昼食前 ■口腔体操	調理 ゲーム ゲーム 工作	お盆 おはぎ作り 敬老の日	毎 数字・絵合わせ 手作りパズル 大人のぬり絵 編み物 新聞を読む		第1・3水曜日 健康体操
9月	午後の体操 ■下肢筋力体 操 ■タオル体操 ■肩こり予防体 操	ゲーム 調理 ゲーム 工作	十五夜 月見団子 運動会の旗飾り付け メダル作り	毎 数字・絵合わせ 手作りパズル 大人のぬり絵 編み物 新聞を読む		第1・3水曜日 健康体操
10月	■脳活性化手 指体操 ■発声練習	ゲーム 運動会 調理 ゲーム	恒例行事	毎 数字・絵合わせ 手作りパズル 大人のぬり絵 編み物 新聞を読む		第1・3水曜日 健康体操
11月	帰りの挨拶前 ■歌 ■漢字クイズ ■連想ゲーム ■しりとり ■動体視力クイ ズ ■パタカラ体操	調理 工作 ゲーム ゲーム	クリスマス飾り ツリー飾り付け	毎 数字・絵合わせ 手作りパズル 大人のぬり絵 編み物 新聞を読む		第1・3水曜日 健康体操
12月		工作 調理 ゲーム ゲーム	正月(干支)飾り クリスマス 正月用書道 そば打ち	毎 数字・絵合わせ 手作りパズル 大人のぬり絵 編み物 新聞を読む		第1・3水曜日 健康体操
1月		ゲーム ゲーム 調理 工作	書初め 上毛カルタ 鬼のお面	毎 数字・絵合わせ 手作りパズル 大人のぬり絵 編み物 新聞を読む		第2・4水曜日 健康体操
2月		ゲーム 調理 工作 ゲーム	豆まき お雛様飾り付け ひな飾り	毎 数字・絵合わせ 手作りパズル 大人のぬり絵 編み物 新聞を読む		第1・3水曜日 健康体操
3月		ゲーム 調理 ゲーム 工作	ひな祭り	毎 数字・絵合わせ 手作りパズル 大人のぬり絵 編み物 新聞を読む		第1・3水曜日 健康体操

個別レクリエーション

- ・園芸
- ・数字合わせ
- ・絵合わせ(花・国旗・総理大臣・群馬のキャラクター)
- ・手作りパズル
- ・大人のぬり絵
- ・上毛新聞・読売新聞を読む
- ・いきいきカルタ、上毛カルタ

2019年度特別養護老人ホーム 悠ゆうみなみちよう事業計画

悠ゆうみなみちようの事業運営は、基本理念に基づき、利用者の喜びを支えるケアの提供、利用者の尊厳を守り、個別性を重視し、地域の方々に信頼される施設づくりを継続して推進していきます。引き続き人材確保に努め、2018年12月より稼働再開している短期入所事業を軌道に乗せ、連結の特養ユニットの稼働再開を最優先に取り組んで参ります。地域貢献を目的とする託児所等の計画については、地域の放課後児童クラブ等の待機児童等対象児童が少ないため計画を一時中止し、地域ニーズ等の状況をみて計画推進して参ります。

< 全体目標 >

- 1 チームケアを実践する。
～チーム協働でご利用者が安心・安全に生きがいを持って生活できるように支援する～

< 実施計画 >

- 1 入居者の生活習慣や生活様式を把握し、個別のニーズに沿った支援を行う
- 2 事故や不安のない（安心・安全・楽しい）生活を実現する。
- 3 部署内及び多職種間の情報共有と連携を徹底し、チームケアを実践する。
- 4 サービスの平準化と質の向上のため職員研修や勉強会を実施する
- 5 地域との連携を密に行い、ボランティアを積極的に受け入れる

機 能 訓 練

< 目 標 >

- 1 毎日の生活の中で入居者が残存機能を維持出来るように援助する

< 実施計画 >

- 1 個別に状態の把握に日々努め可能な限り自立支援を行う (1) 自立支援を職員が理解し実践する。(2) ケアプランに位置づける。
- 2 余暇活動を充実させ日常生活に機能訓練を取り入れる (1) 午前・午後の活動を日課に位置づける。(2) 機能訓練加算の体制を整える。
- 3 日常生活に即した訓練（起立、歩行等）を行い、残存機能を維持する。(1) 生活リハビリ、自主訓練プログラムをケアプランに位置づける。

給 食

< 目 標 >

- 1 これまでの食習慣を尊重し、栄養・食事内容の充実を図る
- 2 食事の時間が楽しみになって頂けるよう工夫し食事提供を行う

< 実施計画 >

- 1 摂食意欲が維持できる食事を提供し、経口摂取の維持に努める (1) 医務、ユニット等チームケアの実施
- 2 誤嚥や誤飲等の事故の予防 (1) ソフト食等嚥下食の提供 (2) 状態変化による食事形態の変更にユニット、

- 医務と連携し、迅速に対応 (3) 食事変更に伴うカンファレンスへの参加
- 3 入居者とのふれあい (1) 食事状況の立ち会い評価 (2) 定期的な嗜好調査の実施
 - 4 適切な食事提供への研究 (1) 嚥下食の研究 (2) 栄養価主体メニュー (3) 地域食材の提供
(4) 季節感や生活感のある食事の研究

医 務

< 目 標 >

- 1 入居者の自立支援 2 感染症の予防

< 実施計画 >

- 1 入居者の健康管理及び自立支援 (1) 健康管理 (2) 自立支援
- 2 ショートステイ入居者の健康管理 (1) 利用中の健康管理・相談と薬剤管理。
- 3 看護・介護の質の向上 (1) 職員への疾病と服薬についての研修の実施。(2) 看取り・褥瘡予防・感染予防等、施設内研修会の実施。(3) 事故予防と事故対応の研修の実施。
- 4 職員の健康管理 (1) 年2回の健康診断の実施。

短期入所事業

< 全体目標 >

- 1 短期入所事業を再稼働する
- 2 利用者の自立支援と家庭での生活ペースに合わせた援助を行うと共に家族の介護負担軽減と地域に根付いたサービスの提供を行う。

< 実施計画 >

- 1 速やかなショートの入入れ
(1) 居宅の介護支援専門員等からの依頼に速やかに対応する。(2) 緊急ショートの依頼に速やかに対応する。
- 2 利用者やその家族からの要望等に対しての適切かつ迅速な対応を行う。
- 3 利用中の事故防止に努め、事故発生及び緊急時には家族・居宅介護支援事業所への連絡など、迅速に対応は基より、事前に家族等と対応について協議しておく。
- 4 利用者の情報を全職種で共有する。
- 5 地域の民生員や地域包括、在宅支援等の関係機関及び在宅サービス事業者、病院等との連携を図り、地域ボランティア等も積極的に受け入れる。

2019年度目標 (2019年4月1日～2020年3月31日)

特養

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月別稼働率 (%)	85	85	85	90	90	90	95	95	95	98	98	98	92

短期入所事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月別稼働率 (%)	10	10	10	25	25	25	50	50	50	60	60	60	36